

……平成22年度予算がまとまりました……

保険給付費の増加などにより赤字予算編成に

2月22日に開催された第91回組合会において、平成22年度予算が可決・承認されましたのでお知らせいたします。

厳しい財政状況のなか 保険料率は 前年度据え置きに

長引く経済不況は、企業だけでなく、健保組合の財政にも大きな影響を及ぼしています。雇用環境、企業の収益の悪化は、被保険者数の減少、標準報酬月額減少などの形であらわれ、健保組合の運営にとって重要な柱である保険料収入が、大きく落ち込むという状況になっています。

一方で、高齢者医療費への過重な負担、

平成22年4月から診療報酬の引き上げによる保険給付費の増加などにより、支出が収入を大きく上回る状況が予想され、これにより全国の多くの健保組合では22年度予算編成において健康保険料率の引き上げを実施するなど、非常に厳しく苦しい対応を迫られています。

当健保組合においては、保険給付費の増加、高齢者医療費などの影響を受け、22年度は2億56万円の経常赤字を計上する予算編成となりました。しかしながら、当健保組合では各種事業の実施のさらなる効率化や、医療費適正化などをはかるとともに、繰越金2億694万円を繰り

◆平成22年度収支予算概要◆

介護保険

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさん*と事業主から納められる介護保険料	208,224
繰越金等	8,673
合 計	216,897

■支出

科 目	予算額(千円)
国に納める介護納付金	214,366
積立金等	2,531
合 計	216,897

* 介護保険第2号被保険者たる被保険者等

健康保険

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,592,438
健保組合が互いにし合って助け合うお金(調整保険料)	27,403
繰越金	206,936
その他	52,963
合 計	2,879,740

■支出

科 目	予算額(千円)
病気やけがやお産をしたときに健保組合が負担する保険給付費	1,440,665
高齢者の医療に使われる納付金	1,167,060
健康づくりに使われるお金	137,674
健保組合が互いに助け合うための拠出金	27,403
その他	56,938
いざというときのための予備費	50,000
合 計	2,879,740



被保険者 1 人当たりでみた収支予算（健康保険）

収入合計◆457,102円

その他 8,406円 (1.8%)
 繰越金 32,847円 (7.2%)
 健保組合が互いに出し合っただけのお金（調整保険料） 4,350円 (1.0%)

みなさんと事業主から納められる保険料
 411,498円 (90.0%)

病気やけがやお産をしたときに
 健保組合が負担する保険給付費
 228,677円 (50.0%)

高齢者の医療に使われる納付金
 185,248円 (40.5%)

健康づくりに使われるお金 21,853円 (4.8%)
 健保組合が互いに助け合うための拠出金 4,350円 (1.0%)
 その他 9,038円 (2.0%)
 いざというときのための予備費 7,937円 (1.7%)

支出合計◆457,102円

※ 四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります

入れ、収支の均衡をはかることで、健康保険料率の引き上げについては実施しないことにいたしました。

みなさんの医療費は約4千万円の増加

22年度の予算編成にあたっては、被保険者数6300人、平均標準報酬月額31万2700円、一般保険料率千分の87（事業主千分の48・被保険者千分の39）などの数値を元に算出しました。

収入のほとんどを占めるのが、事業主とみなさんから納めていただく保険料で、前年度比1917万円増加の25億9244万円となっています。

支出においては、みなさんとご家族の医療費や出産などの給付金にあてられる保険給付費を14億4067万円計上しています。診療報酬の引き上げによる医療費の増加、インフルエンザの流行などを見込み、同比4443万円の増加です。

納付金は、65歳～74歳の高齢者の医療費である前期高齢者納付金、75歳以上の高齢者の医療費である後期高齢者支援金などにあてられるもので、今年度は同比2億1125万円減少の11億6706万円を見込んでいます。減少となったのは、前々年度の納付金の概算払いの精算があったため、保険料収入に占める割合では約5割にのぼるなど、依然として負担が大きくなっています。

ます。

このほか、みなさんの健康づくりの費用として、特定健診の実施費用、保養所の利用補助などに同比1033万円増加の1億3767万円を計上します。

以上のことから、実質的な収支では、經常収入26億107万円、經常支出28億163万円となり、差し引き2億56万円の赤字を計上するという結果となりました。

当健保組合としては、引き続き安定的な健保組合運営を行うとともに、みなさんの健康づくりをサポートする事業を積極的に実施してまいります。みなさんも、ぜひこれらを活用され、元気な毎日をお過ごしください。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

介護保険料率を千分の12に引き上げ

22年度に当健保組合が国に納める介護納付金は、高齢者の増加、介護報酬の増大などを反映して前年度比1218万円増加の2億1437万円となっています。これをもとに22年度の介護保険料率を算出した結果、21年度の千分の10・7から千分の12に引き上げとなりました（負担割合は事業主・被保険者の折半）。みなさんから納めていただく介護保険料は2億822万円を見込んでいます。